

第5 公営企業の業務の状況

1 電気事業

(1) 平成19年度予算の状況

ア 平成19年度事業の経営方針

10発電所における年間販売電力量を1億5,400万キロワットアワー、販売電力量収入を15億9,600余万円と見込み、収益的収支の予算を編成しています。

また、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施いたします。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されますので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携等を図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努力します。

イ 平成19年度予算の概要

平成19年度電気事業会計予算

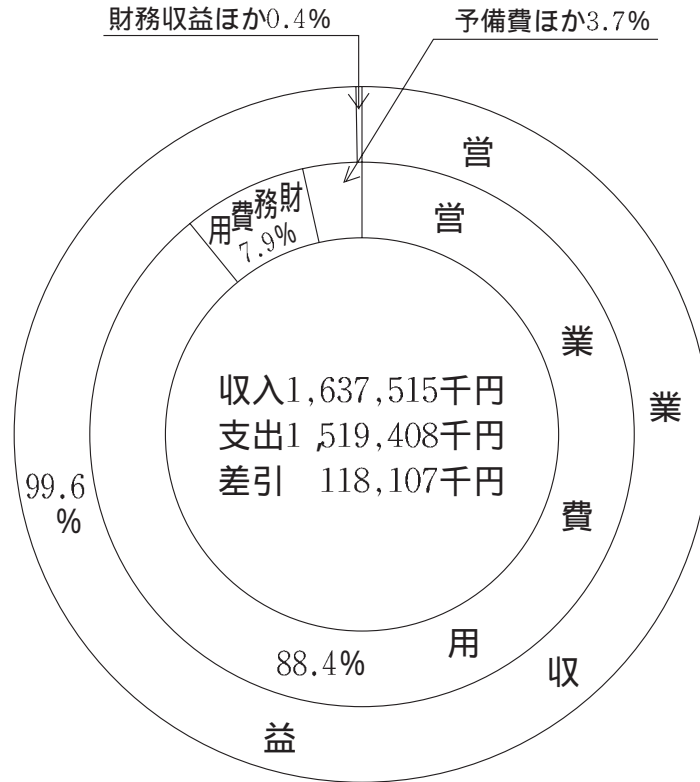
(単位 千円)

区 分	金 額	備 考
収 益 的 収 入		
第1款 電気事業収益	1,637,515	
第1項 営業収益	1,631,671	販売電力料金ほか
第2項 財務収益	5,589	受取利息
第4項 事業外収益	252	事業外管理収益ほか
第5項 特別利益	3	固定資産売却益ほか
収 益 的 支 出		
第2款 電気事業費用	1,519,408	
第1項 営業費用	1,342,873	発電費及び一般管理費
第2項 財務費用	120,702	支払利息
第4項 事業外費用	52,830	消費税ほか
第5項 特別損失	3	固定資産売却損ほか
第6項 予備費	3,000	
資 本 的 収 入		
第3款 資本的収入	7,464	
第3項 資本剰余金	7,461	国庫補助金
第4項 固定資産収入	/	固定資産売却代
第5項 雑収入	2	共同施設受託金ほか
資 本 的 支 出		
第4款 資本的支出	666,272	
第1項 建設費	42,972	平瀬発電所建設ほか
第2項 改良費	334,084	発電所改良工事及び分担金
第3項 投資	/	投資有価証券
第4項 償還金	286,115	企業債償還金
第6項 補助金返還金	100	国庫補助金返還金
第8項 予備費	3,000	

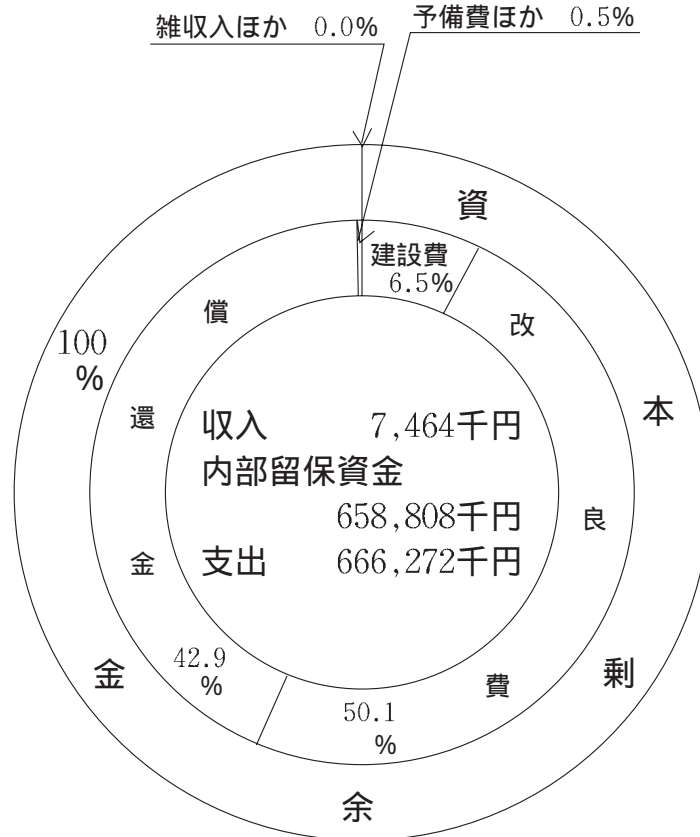
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額6億5,880万8千円は、内部留保資金で補てんします。

平成 19 年 度 予 算

収益的收入及び支出



資本的收入及び支出



平成19年度電気事業予定貸借対照表

(平成20年3月31日)

(単位 千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産	9,239,986	3 固 定 負 債	707,872
(1) 有 形 固 定 資 産	7,523,069	(1) 引 当 金	707,872
(2) 無 形 固 定 資 産	145,634	ア 退 職 給 与 引 当 金	201,971
(3) 投 資	1,571,283	イ 修 繕 準 備 引 当 金	505,901
2 流 動 資 産	3,036,457	4 流 動 負 債	125,012
(1) 現 金 預 金	2,845,759	(1) 未 払 金	120,815
(2) 未 収 金	190,698	(2) 未 払 費 用	2,466
		(3) そ の 他 流 動 負 債	1,731
		負 債 合 計	832,884
		5 資 本 金	9,717,314
		(1) 自 己 資 本 金	7,014,055
		(2) 借 入 資 本 金	2,703,259
		6 剰 余 金	1,726,245
		(1) 資 本 剰 余 金	488,729
		(2) 利 益 剰 余 金	1,237,516
		資 本 合 計	11,443,559
資 産 合 計	12,276,443	負 債 ・ 資 本 合 計	12,276,443

(2) 平成18年度下半期の業務の概要

平成18年度下半期は、少雨傾向にあったものの年度を通じての降雨量は、県下主要ダム地点で平年の122.0%となり、平成18年度の販売電力量は目標に対して101.0%、電力料金収入は目標に対して100.3%となりました。

また、経営の安定を図る上から、より一層の経費の節減に努めるとともに、2月補正では、受取利息の増等により、収益的収入予算においては、全体で627万1千円の増額補正を、収益的支出予算においては、人件費の減等により1,539万1千円の減額補正を行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において17億2,424万円、収益的支出において15億5,525万8千円、資本的収入において541万8千円、資本的支出において4億2,758万3千円となりました。

なお、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施しました。

(参考)

販売電力量・電力料金収入の状況

年 度	降 雨 量 mm	平 年 比 %	販 売 電 力 量 MWH	対 目 標 %	料 金 収 入 千円	対 目 標 %
	1,935	100	目標 5~6年度 190,902 7~8年度 190,244 9~10年度 189,451 11~12年度 188,302 13~14年度 187,359 15~16年度 185,085 17~18年度 183,921	100	目標 5~6年度 2,058,401 7~8年度 2,052,321 9~10年度 2,076,298 11~12年度 2,036,893 13~14年度 1,905,516 15~16年度 1,777,081 17~18年度 1,675,915	100
9	2,538	131.3	191,394	101.0	2,015,831	97.1
10	1,907	96.3	174,513	92.1	2,027,695	97.7
11	2,008	100.9	170,776	90.7	1,982,091	97.3
12	1,519	75.6	135,452	71.9	1,865,879	91.6
13	1,976	102.1	147,764	78.9	1,785,485	93.7
14	1,544	80.7	148,743	79.4	1,788,578	93.9
15	2,115	111.0	176,563	95.4	1,752,682	98.6
16	2,499	136.7	212,153	114.6	1,854,945	104.4
17	1,734	89.1	149,706	81.4	1,582,314	94.4
18	2,361	122.0	185,776	101.0	1,680,425	100.3

(3) 企業債の状況

(平成19年3月31日)

(単位 千円)

区 分	発行総額	償 還 額		未償還残高
		当年度償還額	償還額累計	
錦川水系発電所	1,852,000	87,245	583,143	1,268,857
佐波川発電所	1,028,000	49,269	721,757	306,243
木屋川発電所	646,000	31,551	332,336	313,664
新阿武川発電所	310,000	13,679	119,847	190,153
生見川発電所	936,000	49,283	738,089	197,911
本郷川発電所	223,000	11,625	173,439	49,561
末武川発電所	883,000	35,978	378,441	504,559
小瀬川発電所	320,000	13,935	161,573	158,427
計	6,198,000	292,565	3,208,625	2,989,375

2 工業用水道事業

(1) 平成19年度予算の状況

ア 平成19年度事業の経営方針

総給水量 5 億8,200余万 m^3 、給水収益83億4,000余万円を見込み、収益的収入の予算を編成しています。

また、将来の水需要に対応するため、建設事業として、生見川、木屋川第2期、佐波川第2期の各工業用水道事業を引き続き実施します。

なお、工業用水の安定した供給に努めるとともに、引き続き、需要の開拓をはじめ、諸施策に取り組み、工業用水道事業会計の経営基盤強化に努力します。

イ 平成19年度予算の概要

平成19年度工業用水道事業会計予算

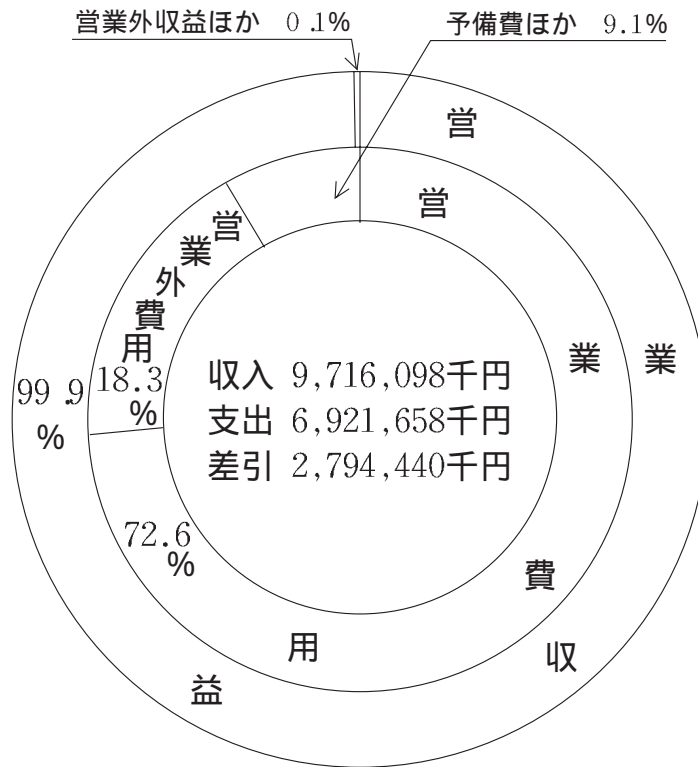
(単位 千円)

区 分	金 額	備 考
収 益 的 収 入		
第1款 工業用水道事業収益	9,716,098	
第1項 営 業 収 益	9,701,822	給水料金収入ほか
第2項 営 業 外 収 益	14,271	受取利息ほか
第4項 事 業 外 収 益	2	雑収益
第5項 特 別 利 益	3	固定資産売却益ほか
収 益 的 支 出		
第2款 工業用水道事業費用	6,921,658	
第1項 営 業 費 用	5,023,982	原水費、配水費及び総係費ほか
第2項 営 業 外 費 用	1,267,400	支払利息及び消費税ほか
第4項 事 業 外 費 用	174	事業外資産管理費ほか
第5項 特 別 損 失	620,102	事業精算に伴う特別損失ほか
第6項 予 備 費	10,000	
資 本 的 収 入		
第3款 資 本 的 収 入	5,209,568	
第1項 企 業 債	3,585,000	改良事業資金
第3項 長 期 借 入 金	607,859	
第4項 資 本 剰 余 金	746,546	国庫補助金ほか
第5項 固 定 資 産 収 入	/	固定資産売却代
第6項 雑 収 入	270,162	共同事業者工事負担金ほか
資 本 的 支 出		
第4款 資 本 的 支 出	10,839,926	
第1項 建 設 費	411,300	建設事業費
第2項 改 良 費	3,528,003	施設改良事業費、ダム分担金
第3項 投 資	/	投資有価証券
第4項 償 還 金	6,874,891	企業債償還金
第5項 補 助 金 返 還 金	15,731	
第7項 予 備 費	10,000	

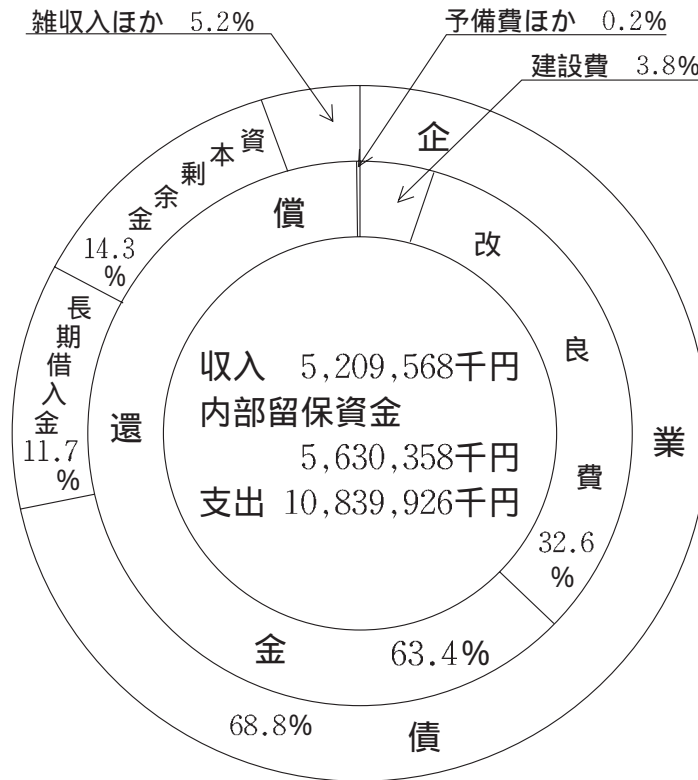
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額56億3,035万8千円は、内部留保資金で補てんします。

平成 19 年度 予算

収益的收入及び支出



資本的收入及び支出



平成19年度工業用水道事業予定貸借対照表

(平成20年3月31日)

(単位 千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産	154,072,981	3 固 定 負 債	2,900,129
(1) 有 形 固 定 資 産	144,249,901	(1) 長 期 借 入 金	1,324,443
(2) 無 形 固 定 資 産	9,823,078	(2) 引 当 金	1,575,686
(3) 投 資	2	ア 退 職 給 与 引 当 金	99,772
2 流 動 資 産	4,802,133	イ 修 繕 準 備 引 当 金	1,475,914
(1) 現 金 預 金	3,719,130	4 流 動 負 債	792,378
(2) 未 収 金	1,021,645	(1) 未 払 金	736,592
(3) 貯 蔵 品	41,358	(2) 未 払 費 用	32,822
(4) そ の 他 流 動 資 産	20,000	(3) そ の 他 流 動 負 債	22,964
		負 債 合 計	3,692,507
		5 資 本 金	97,822,916
		(1) 自 己 資 本 金	48,382,134
		(2) 借 入 資 本 金	49,440,782
		6 剰 余 金	57,359,691
		(1) 資 本 剰 余 金	51,442,137
		(2) 利 益 剰 余 金	5,917,554
		ア 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	5,917,554
		資 本 合 計	155,182,607
資 産 合 計	158,875,114	負 債 ・ 資 本 合 計	158,875,114

(2) 平成18年度下半期の業務の概要

平成18年度は、9月から3月までの降水量が平年比の約78%と少なく、一部の地域で長期にわたる自主節水を余儀なくされたことにより、1年を通じての実給水量は、契約水量に対し71.7%（昨年度72.6%）となりました。

なお、平成18年度下半期も引き続き将来の水需要に対応するため、建設事業として生見川、木屋川第2期、吉原末武川、佐波川第2期の各工業用水道事業を実施しました。

また、平成17年度に引き続き、工業用水道事業会計の経営基盤強化に取り組み、需要の開拓、料金の適正化等に努める一方、一般会計から長期借入金を受けました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算においては、雑収益の増加等により1億7,368万6千円の増額補正を、収益的支出予算において、特別損失の増加等により1億3,833万8千円の増額補正をしました。また、資本的収入予算においては、企業債の減等により9億5,748万6千円の減額補正を、資本的支出予算においては、企業債償還金の減少等により14億7,746万7千円の減額補正をしました。

この結果、最終予算は、収益的収入において100億9,650万2千円、収益的支出において66億7,332万4千円、資本的収入において40億8,059万円、資本的支出において84億1,990万2千円となりました。

(3) 企業債の状況

(平成19年3月31日)

(単位 千円)

区 分	発行総額	償 還 額		未償還残高
		当年度償還額	償還額累計	
小瀬川工業用水道	2,571,000	95,770	755,647	1,815,353
柳井川工業用水道	126,000	7,611	64,118	61,882
向道・川上工業用水道	1,103,000	55,962	394,835	708,165
周南工業用水道	7,333,400	190,574	1,060,100	6,273,300
佐波川工業用水道	432,600	26,842	169,964	262,636
厚東川工業用水道	6,124,000	310,185	2,477,840	3,646,160
木屋川工業用水道	4,990,000	254,785	2,062,710	2,927,290
生見川工業用水道	6,134,000	439,902	3,868,969	2,265,031
富田夜市川工業用水道	7,520,000	618,474	6,522,668	997,332
厚東川第2期工業用水道	6,862,000	527,783	5,164,211	1,697,789
厚狭川工業用水道	7,124,000	449,543	3,762,206	3,361,794
木屋川第2期工業用水道	6,871,000	1,198,711	4,302,192	2,568,808
吉原末武川工業用水道	4,729,000	326,135	2,720,768	2,008,232
佐波川第2期工業用水道	6,560,000	438,240	3,933,818	2,576,182
小瀬川第2期工業用水道	10,379,000	805,698	4,852,223	5,526,777
本 局	185,000	15,643	153,917	31,083
計	78,994,000	5,761,858	42,266,186	36,727,814

3 総合医療センター事業

(1) 平成19年度の予算及び経営方針

業務予定量については、入院患者延べ数171,288人、外来患者延べ数229,075人を見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、病院事業収益108億9,348万4千円、病院事業費用108億8,938万2千円で、前年度当初予算と比較して、収益で9,458万円の増加、費用で1億990万6千円の増加を見込んでいます。

また、資本的支出については、20億4,780万2千円を計上し、企業債償還金10億2,232万1千円のほか、病院施設を整備するため1億98万1千円、高度医療機器等を購入するため9億1,950万円を措置しています。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

平成19年度業務予定量と前年度との比較（当初予算比較）

区 分	平成19年度 (A)	平成18年度 (B)	増 減 (A)-(B)
1 病 床 数	504床	504床	0床
2 年 間 患 者 数			
入 院	171,288人	168,265人	3,023人
外 来	229,075人	238,140人	△9,065人
3 一 日 平 均 患 者 数			
入 院	468人	461人	7人
外 来	935人	972人	△37人
4 主 要 な 建 設 改 良 事 業			
病 院 施 設 整 備 事 業	100,981千円	177,373千円	△76,392千円
医 療 器 械 器 具 及 び 備 品 購 入	919,500千円	488,237千円	431,263千円

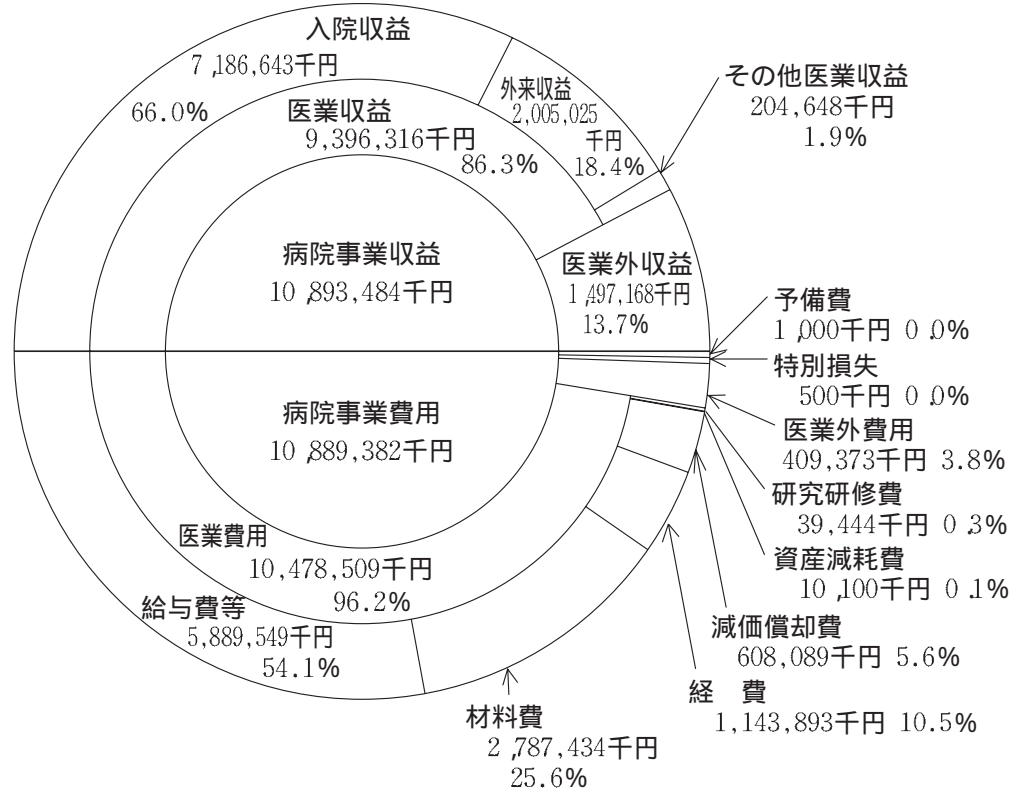
平成19年度総合医療センター事業会計予算の前年度との比較 (単位 千円)

区 分	本年度予定額 (A)	前年度当初 予 定 額 (B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B) %	備 考
収 益 的 収 入					
病院事業収益	10,893,484	10,798,904	94,580	100.9	
1 医業収益	9,396,316	9,192,095	204,221	102.2	
2 医業外収益	1,497,168	1,606,809	△109,641	93.2	
収 益 的 支 出					
病院事業費用	10,889,382	10,779,476	109,906	101.0	
1 医業費用	10,478,509	10,353,318	125,191	101.2	
2 医業外費用	409,373	424,658	△15,285	96.4	
3 特別損失	500	500	0	100.0	
4 予備費	1,000	1,000	0	100.0	
資 本 的 収 入					
資本的収入	1,446,928	1,110,862	336,066	130.3	
1 企業債	1,001,000	655,000	346,000	152.8	
2 負担金	402,192	412,126	△9,934	97.6	
3 寄付金	43,736	43,736	0	100.0	
資 本 的 支 出					
資本的支出	2,047,802	1,566,495	481,307	130.7	
1 建設改良費	1,020,481	665,610	354,871	153.3	
2 企業債償還金	1,022,321	895,885	126,436	114.1	
3 予備費	5,000	5,000	0	100.0	

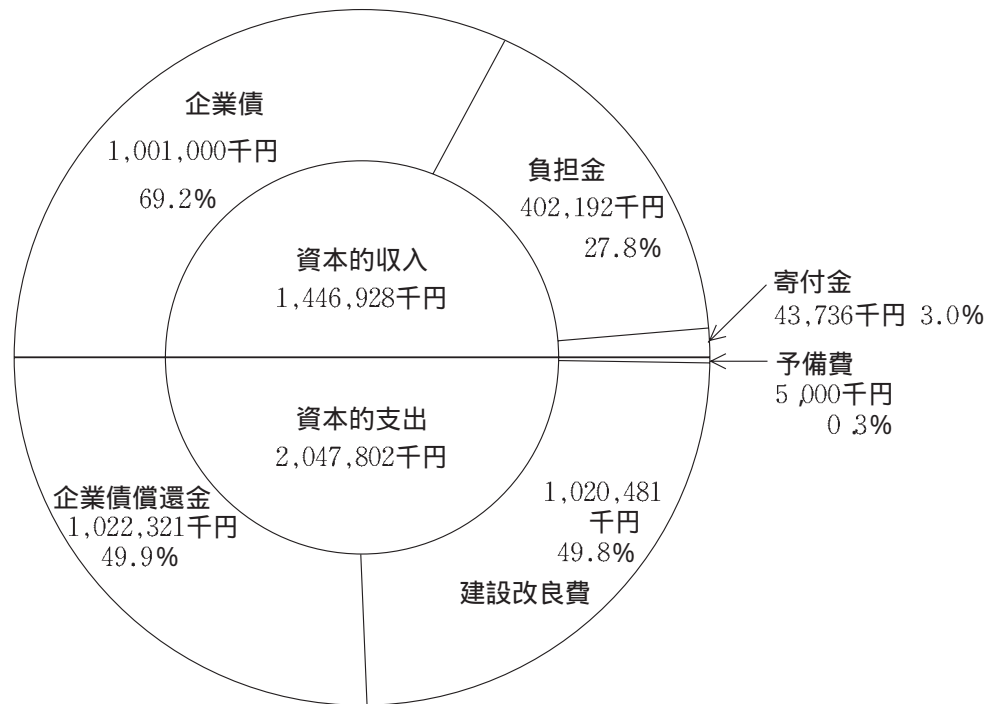
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額6億87万4千円は、内部留保資金（損益勘定留保資金及び資本的収支調整額）で補てんします。

平成 19 年 度 当 初 予 算

収益的收入及び支出



資本的收入及び支出



(2) 平成18年度下半期の業務の概要

公共医療機関としての使命と公営企業としての経済性の調和を図りながら、県民への医療サービスの向上に努めてまいりました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算において8,574万3千円の減額補正をしましたが、これは、外来収益の減少等によるものです。また、収益的支出予算において7,456万3千円の減額補正をしましたが、これは、給与費の減少等によるものです。

この結果、最終予算は、収益的収入において107億1,316万1千円、収益的支出において107億491万3千円、資本的収入において10億3,662万8千円、資本的支出において15億8,451万8千円となりました。

(3) 企業債及び一時借入金の状況

(単位 千円)

区 分	発行総額	償 還 額		平成18年度末現在高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	12,960,000	895,885	6,401,435	6,558,565
一 時 借 入 金	—	—	—	0

4 こころの医療センター事業

(1) 平成19年度の予算及び経営方針

業務予定量については、入院患者延べ数61,722人、外来患者延べ数17,150人を見込み、これを基礎に収益収支の予算を編成しています。その予定額は、病院事業収益14億9,420万7千円、病院事業費用19億6,303万9千円で、前年度当初予算と比較して、収益で5,689万9千円の増加、費用で4億5,875万4千円の増加を見込んでいます。

また、資本的支出については、4億1,581万2千円を計上し、企業債償還金1,047万1千円のほか、病院施設を整備するため4億534万1千円を措置しています。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

平成19年度業務予定量と前年度との比較（当初予算比較）

区 分	平成19年度 (A)	平成18年度 (B)	増 減 (A)-(B)
1 病 床 数	180床	200床	△20床
2 年 間 患 者 数			
入 院	61,722人	70,280人	△8,558人
外 来	17,150人	16,905人	245人
3 一 日 平 均 患 者 数			
入 院	169人	193人	△24人
外 来	70人	69人	1人
4 主 要 な 建 設 改 良 事 業			
病 院 施 設 整 備 事 業	402,108千円	2,589,935千円	△2,187,827千円
医 療 器 械 器 具 及 び 備 品 購 入	3,233千円	110,150千円	△106,917円

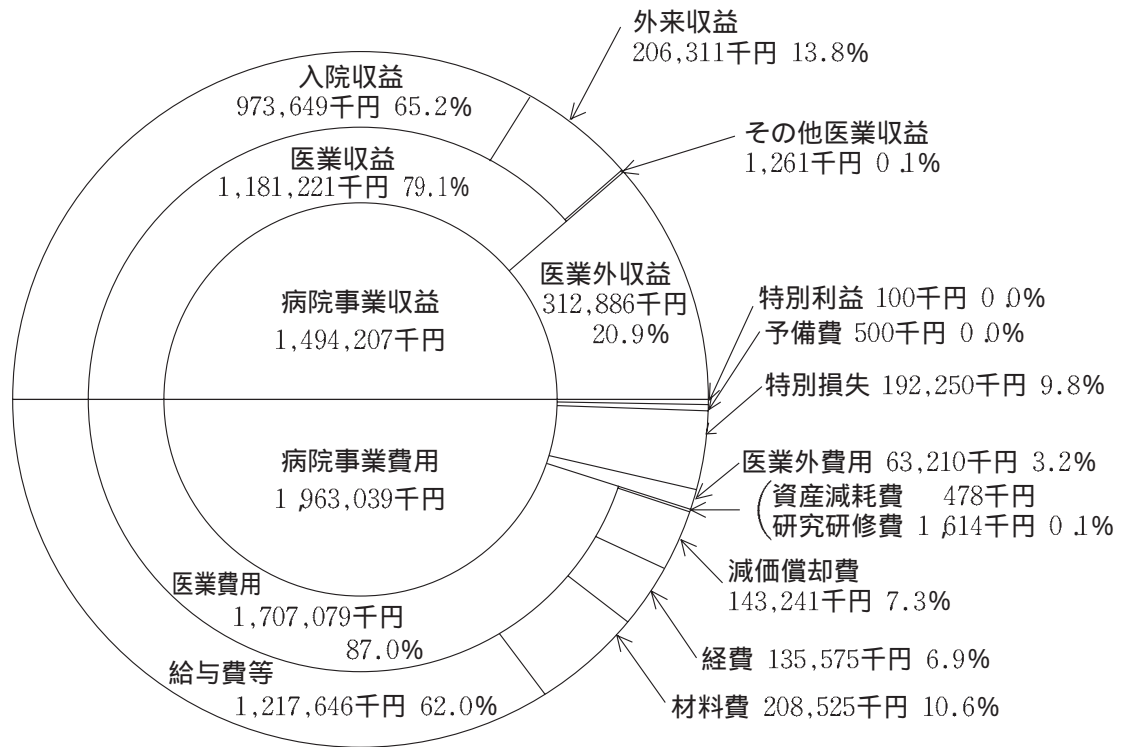
平成19年度こころの医療センター事業会計予算の前年度との比較（単位 千円）

区 分	本年度予定額 (A)	前年度当初 予定額 (B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B) %	備 考
収 益 的 収 入					
病院事業収益	1,494,207	1,437,308	56,899	104.0	
1 医業収益	1,181,221	1,127,735	53,486	104.7	
2 医業外収益	312,886	309,473	3,413	101.1	
3 特別利益	100	100	0	100.0	
収 益 的 支 出					
病院事業費用	1,963,039	1,504,285	458,754	130.5	
1 医業費用	1,707,079	1,487,041	220,038	114.8	
2 医業外費用	63,210	16,644	46,566	379.8	
3 特別損失	192,250	100	192,150	192250.0	
4 予備費	500	500	0	100.0	
資 本 的 収 入					
資本的収入	411,482	2,699,231	△2,287,749	15.2	
1 企業債	403,000	2,686,000	△2,283,000	15.0	
2 負担金	8,482	13,231	△4,749	64.1	
資 本 的 支 出					
資本的支出	415,812	2,709,366	△2,293,554	15.3	
1 建設改良費	405,341	2,700,085	△2,294,744	15.0	
2 企業債償還金	10,471	9,281	1,190	112.8	

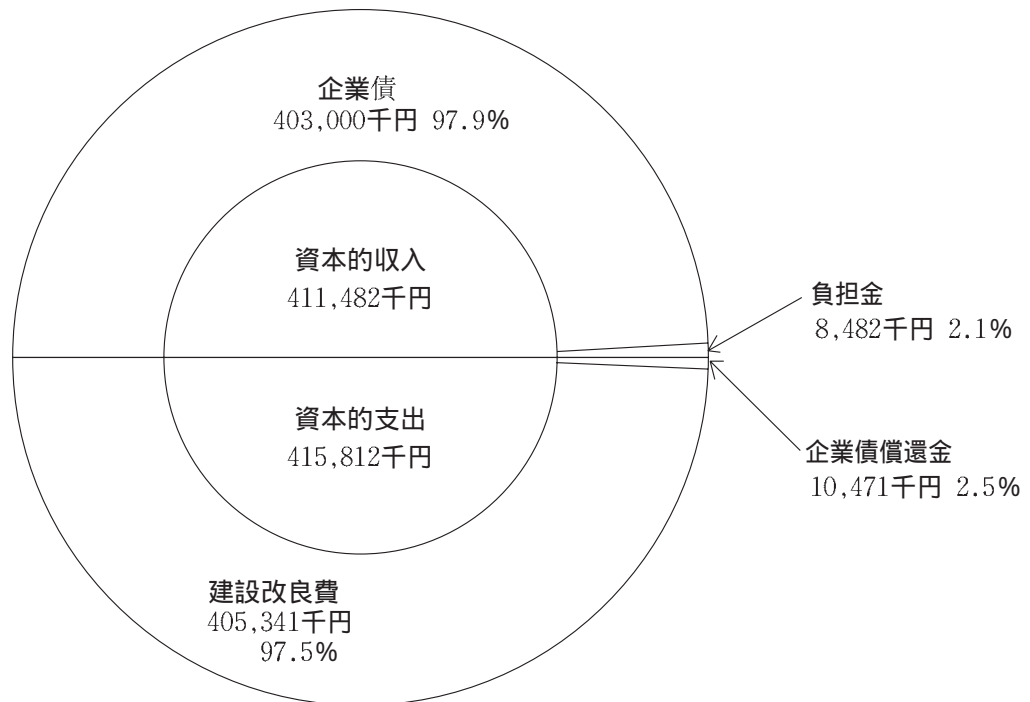
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額433万円は、内部留保資金（損益勘定留保資金及び資本的収支調整額）で補てんします。

平成 19 年度 当初 予算

収益的収入及び支出



資本的収入及び支出



(2) 平成18年度下半期の業務の概要

公営企業として能率的かつ合理的な経営に努めるとともに、県下唯一の公立精神科病院として先駆的で良質な医療により精神障害者の治療と保護を推進し、県民の精神的健康の維持向上に努めてきました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算において、6,385万2千円の減額補正をしていますが、これは、入院収益の減少等によるものです。

また、収益的支出予算において6,242万4千円の減額補正をしましたが、これは給与費の減少等によるものです。

この結果、最終予算は、収益的収入において13億7,345万6千円、収益的支出において14億4,186万1千円、資本的収入において26億7,521万3千円、資本的支出において26億8,332万9千円となりました。

(3) 企業債及び一時借入金の状況

(単位 千円)

区 分	発行総額	償 還 額		平成18年度末現在高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	3,574,000	9,281	102,164	3,471,836
一 時 借 入 金	—	—	—	0